

テーマ5	ICT を活用した堤防等除草の自動化
------	--------------------

1. 解決したい課題の内容

- ・自治会では、河川愛護活動を「自らの地域環境は自らで維持管理していく」という精神のもと、平成 24 年度まで市内で年間約 120 ヘクタールの草刈りを実施してきた。
- ・しかし、農業従事者の減少や地域を支えた世代の高齢化により参加者が減少し、加えて、近年の高温に伴い健康面での配慮が必要となり、地域の負担は一層増している。
- ・市では、こうした状況を受け、平成 25 年度から法面勾配が急な危険箇所や、参加者 1 人当たりの作業面積が 100 平方メートルを超える地域などで草刈りを代行し、現在は全体の 52%に当たる 62 ヘクタールを市が実施しているが、一方で職員の業務量と財政負担が増大している。
- ・自走式草刈機やラジコン草刈機を導入しているが、地域、行政ともに除草作業には多くの労力、時間及び費用を要しており、更なる省人化及び効率化が不可欠となっている。

2. 実現したい目標について

省人化及び効率化、コスト縮減の一環として、ICT を活用した堤防等除草の自動化を図る。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・現在保有するラジコン草刈機の自動化（GPS データや 3 次元点群データ等の活用）

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・市内除草実施箇所にて、提案技術を実証導入し、効果を検証